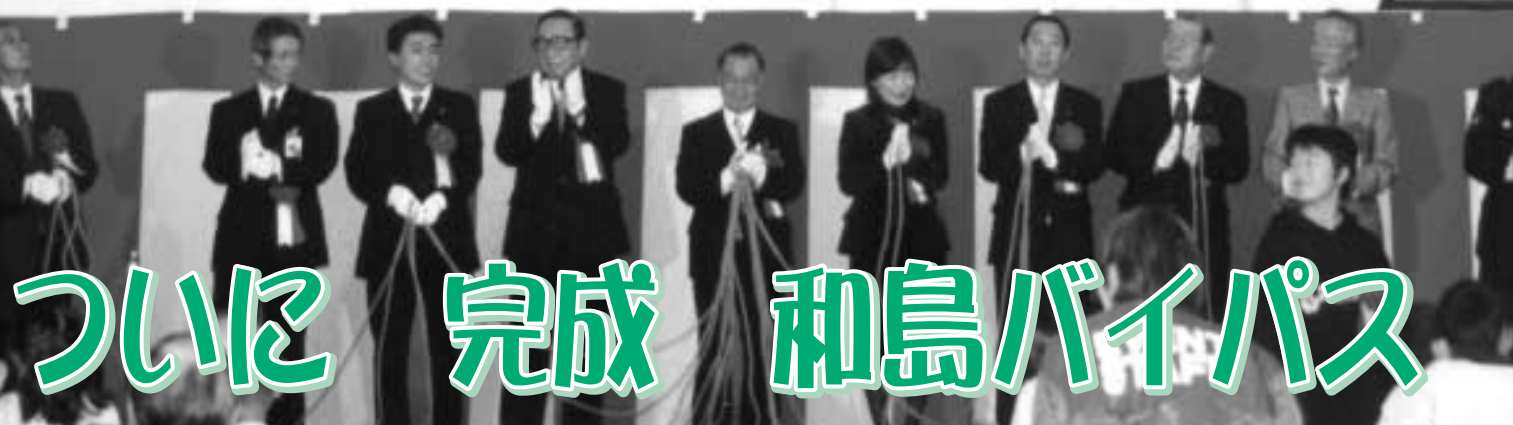


祝 和島バイパス 開通

祝 一般国道116号 和島バイパス 開通



12月12日(金)和島バイパス開通式

広報

わししま

2004 **1** January

2004年(平成16年)1月1日発行 No.365

広報わししま

平成16年1月1日発行 365
 発行:和島村役場
 編集:企画観光課
 〒949-4511
 新潟県三島郡和島村大字小島谷3434-4
 TEL:0258(74)3111
 FAX:0258(74)2791
 http://www.vill.washima.niigata.jp
 E-mail:w-kikaku@lily.ocn.ne.jp

和島村の人口と世帯数

人口 5,097人(-10人)
 男 2,457人(-6人)
 女 2,640人(-4人)
 世帯数 1,311戸(±0戸)
 11月末現在・()内は前月比

編集者のつぶやき

新年明けましておめでとうございます。本年も『広報わししま』とともにご支援とご協力をお願い申し上げます。▶ついに12月12日、和島バイパスが開通しました。開通に先立ち7日には記念イベントも開催され、マラソンには多くの人が参加しました。当日は冬の一番の大荒れの天候…。準備をしながら「あまり参加しないのでは」と考えていました。しかしふたを開けてみれば、なんと約230人ものが参加。風雨のなか、走って帰ってくる人々を見て、和島バイパスが和島村にとって歴史に残る一大事業であったかを実感しました。▶さて新しい年を前に、新しい道も開通しました。新たな目標を立てて、新たな気持ちでがんばっていきましょう。

今月の もう一枚



今月のもう一枚は、11月29日に行われた、島田小学校の移杖式の写真です。6年生が最後の演奏を終え、これからカラーガードの旗の下を歩いて退場するシーンです。実は私が小学校6年生の時に旗を持つカラーガードの人数が増えました。ただ、当時の印象は強くありません。しかし、今回の移杖式での旗を回転させるダイナミックな動きを見て、演奏に華を添える重要な要素となっていて驚きました。卒業して12年。自分たちが受け継いできたスクールバンドがさらに発展して、次の世代に受け継がれているのを見て「伝統」というものを感しました。今月は、しみじみ撮影した一枚です。

1月の主な行事

| | | | |
|-----------|--------------------|-----------|---------------------------------|
| | | 16 (金) | |
| 1 (木) | 元旦 | 17 (土) | わんぱく?塾~冬の陣~ |
| 2 (金) | | 18 (日) | |
| 3 (土) | | 19 (月) | |
| 4 (日) | | 20 (火) | 心配ごと相談 ひよこくらぶ |
| 5 (月) | 官庁仕事始め 保育所保育始業日 | 21 (水) | 配食サービス |
| 6 (火) | 心配ごと相談 | 22 (木) | |
| 7 (水) | 配食サービス | 23 (金) | |
| 8 (木) | 小・中学校始業式 幼稚園始業式 | 24 (土) | ちびっこ体育教室 |
| 9 (金) | | 25 (日) | |
| 10 (土) | ちびっこ体育教室 | 26 (月) | |
| 11 (日) | | 27 (火) | 乳児相談 心配ごと相談 |
| 12 (月) | 成人の日 | 28 (水) | 配食サービス |
| 13 (火) | 心配ごと相談 | 29 (木) | さわやか健康教室(保健センター) シルバークッキング教室 |
| 14 (水) | 配食サービス | 30 (金) | |
| 15 (木) | さわやか健康教室(保健センター) | 31 (土) | |

年頭のご挨拶

和島村長 笠原 芳彦



新年あけましておめでとございます。皆様方におかれましては、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお喜びを申し上げます。

旧年中は、村政の推進に対しましてご指導ご鞭撻を賜りましたことにつきまして、衷心より厚く感謝を申し上げます。

昨年、皆様方の温かいご支援とご厚情を賜わり5月に村長に就任させていただきました。

この間、皆様にお約束を申し上げております「生き残りを賭けた地域づくり」を目指し、村民の皆様方に「夢と希望」をお与え出来るよう職員共々一丸となって邁進している次第でございます。

行政を取り巻く現在の状況といたしましては、国が進めております構造改革の真つ口中であります。

国内の状況といたしましては、平成に入り初めての改革と激動を迎えており、国が改革の名の下に行っており、国が改革の縮減政策から、各市町村のみならず和島村といた

しましても財政的に非常な覚悟と忍耐が必要となるに差し加かって来ております。

しかし、このような時勢にこそ、あらゆる創意と工夫に知恵を出し、積極的な施策を展開することにより、活性化が図られるよう努力することが、今こそ求められているところと思っております。

国と地方の経済情勢では、政府は昨年6月に「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」を閣議決定し、一般に骨太方針2003と呼ばれ、国と地方の改革として国からの補助金と負担金、県と市町村への地方交付税交付金、税源移譲の三者を一体として見直し改革とする、いわゆる三位一体の改革が打ち出されましたが、未だに不透明な部分が多く、税源移譲の具体案も確定しておりません。

政府税制調査会では2004年度答申に盛り込むと発表され、この考え方からすれば、それらの実施策はまだまだ時間がかかると思わざるを得ません。

地方に権限委譲を行うとする地

このような背景からと思いが、農産物の泥棒被害が続出したしましたが、これも今までに無い現象であります。

農業を取り巻く環境は相も変わらず厳しくはございますが、和島村では桐原地区の大型区画ほ場整備がようやく完了の精算段階に入っておりますことと、保内地区の担い手型ほ場整備事業につきましても既に事務をスタートいたしました。

これらのほ場整備地域に限らず、農家の生き残り対策といたしまして、集落営農システムについてご説明とご協力を申し上げております。この基本には農地集積と幾人かの率先者(担い手)及び作業協

とて三町村の確認がされているところでございます。

さて、国外におきましては、アメリカの同時多発テロ事件がまだ記憶に新しい中で、アフガニスタン問題、イラク戦争へと発展し、イスラム過激派などの自爆による爆弾テロの場がイラクからトルコへと、周辺国へ拡大しつつあり、テロとの戦いは泥沼化の様相を呈しております。このような状態の中ではありませんが日本はイラクへの自衛隊派遣などの基本計画が決定されております。

北朝鮮による拉致被害事件につきましては、一向に解決の進展は見えて来ず、そのご家族や、また行方不明者で拉致の疑いのある関係者のご心痛を思うとき、北朝鮮船舶の往來の報を聞くたび、日本の主権はどこに行つたのかと、やるせなく感じるときがあります。

しかし、ようやく自民党では、北朝鮮への経済制裁を日本単独でも可能にする法案が検討され、本年成立の見通しが出てまいりました。

昨年はマニフェスト(政権公約)を掲げての衆議院選挙が行われ、政府与党の三党が絶対安定多数を確保いたしましたと同時に、野党の民主党は旧自由党との合併効果もあり、解散時の議席を大きく上回り、二大政党制への流れが出てまいりました。県内における各党派の議席数も大きく変化が現れ、

今年夏の参議院選挙の動向が増々注目されるところであります。

先の見えない経済回復と解雇への不安、依然として就労が改善されていない今日、これらに端を発していると思われまます各種犯罪の増加、相まってこれらに対するマスコミの反応し過ぎとも思える対応が、場合によっては同種の犯罪増加、あるいは新しい模倣犯を作り上げているように感じてなりません。

これらが連鎖しているかはわかりませんが、最近において幼児や小・中学生を対象にした誘拐や、連れ去りの事件が全国的に多発しており、新潟県でも発生しています。

これらに対しましては通学路における安全確保や防犯灯の点検など、そして今回、和島村青少年育成村民会議のご協力をいただき、昨年に児童・生徒の皆さん全員に防犯ベルを携行するようご配慮いただきました。

村民の皆様からも不審者の通報などご協力いただければ有り難いと思っております。

農業関係に至りましては、昨夏の近年にない低温の影響で、「不稔もみ」が多発したことが響き、作況指数は全国で90、新潟県で96と発表され、昨年に比べ、「著しい不良」となりました。

周囲を取り巻く環境は引き続き厳しいものでありますが、村民福祉の向上と活力ある自立性に富んだ地域づくりに、職員一同力を合わせ専心努力いたしますと共に、村民の皆様方の「安心」「安全」「安定」「安寧」の村づくりを責務とし、今後も全身全霊で邁進する所存でございます。

平成16年の元旦にあたり、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成16年の元旦にあたり、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

私もご健勝を祈り申し上げます。皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

力者の問題があります。これら地域が積極的に話し合い、一歩進むことにより、機械の共同利用など、省力化と転作対応が図られてこそ、稲作農家の生き残れる道が開けるものと思っております。

また、統合小学校問題につきましては、役場裏の旧異種目換地の所有者の皆様方、及び隣接地の方々から、心暖まるご理解とご協力を賜わり、教育施設整備検討委員会の答申を引き継がさせていただきます。

また、合併後の事業構想の一つとして整備を計画しております高齢者福祉施設との相乗効果を醸し出す、共に育む「共育の里構想」といたしまして、同地に学校と福祉施設を建設することといたし、新

新年を迎えて

和島村議会議長 倉部 昭一



村民の皆様、明けましておめでとございます。

村民の皆様には、日頃から、村政に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして昨年も着実に発展への基盤を固めてまいりましたが、ここに新年を迎え本

村の一段の躍進を期して清新の気みなぎるのを覚えます。

さて、昨年は笠原新村長の誕生の基、新しい構想で事業展開がなされてまいりましたが合併までの短い期間で合併後の和島地域の将来構想の構築に大きな期待をするものであります。

議会議員の構成につきましては、昨年1月1日、地方自治法の改正施行及び国勢調査人口の減に伴いまして、昨年の選挙より定数を2人減の14人に決めました。

市町村合併につきましては、7月7日関係3か町村臨時会で合併協議会の設置を議決し、7月10日

年度におきましては早速土地造成に入る考えであります。国道116号バイパスの開通につきましては、沿線住民の皆様方の悲願でありましたが、昨年ようやく供用ができました。これにより関係地域の交通の安全や生活環境の改善がなされ、また下水道事業も再開できることとなりまして、村内の下水道整備は計画通り進行の運びとなりました。

バイパスに合わせ、「道の駅」につきましては、住民のご家族がくつろぎ、遊び、そして「いやし」の場としてご利用いただく、「芝生公園」と古民家移築の「地域交流センター」とともに、これらの施設を一体として、イベントや各種

研修開催を含め、村民の交流を目的とした「村民憩いの場」として現在整備中でございます。

この「地域交流センター」では、地域の生産物を地域で消費販売する「地産地消」を基本方針とした物産品の取り扱いを考えております。これらは和島村といたしまして重要事業ばかりでございますが、節目の合併までに限られた期限の中での早期対応が迫られております。

このことから考え合わせますと、各種重点事業につきましては基本的事項を事前に布石し、和島村の生き残りを賭け合併後においてもその実施が確固たるものとしてお

に与板町・和島村・出雲崎町による三島郡3か町村合併協議会が設置され、合併協定基本項目について協議をすすめているところでありますが、合併による村民サービスの低下を招くことのないよう心掛けていくところであります。村民の皆様方も合併に向け合併後の住民福祉の向上に向け自己啓発に励み、住民のための行政に一層心掛けていただきたいと思います。

和島村におきましては、永年の夢でありました国道116号和島バイパスも12月12日に開通し、沿線の皆様の不安が解消されたこと

統合小学校位置の選定について

和島村長 笠原 芳彦

今回までの経緯

桐島、島田両小学校を統合する計画につきましては、校舎の老朽化による児童への危険性や少子化・過疎化による児童数の減少から複式学級への移行が懸念されていた折り、平成3年11月に「第1次和島村小学校施設整備審議会」を設置するとともに、同審議会へ「村立小学校の施設整備」に関する諮問を行った結果、平成4年8月には「小学校統合の方針」との答申をいただきました。また、同時期には、桐島桐原地区21世紀型再ほ場整備計画が進められていたこともあり、役場周辺の農地（大字島崎字浦反甫、大字小島谷字分田）を、同計画の中で、異種目換地用地田以外の地目（公共用地等）に換地すること。（として取扱うこと）で、この役場周辺の農地を統合小学校の候補地としてはどうかの検討が平成5年度末までなされておりま

した。

平成8年度に入り、村は統合小学校位置の早期決定を図るため、第2次和島村小学校施設整備審議会へ同位置の諮問を行いました。同審議会では、村から提示された当時の候補地4箇所（島田小学校「桐島小学校」「石田鶏業」「役場裏の水田」）、小島谷駅前近くの小島谷丘陵地」と、島田小学校の裏山の丘陵地」の2箇所を加えた6箇所の中から慎重審議を行っていたとき、同年8月には、島田小学校」と「石田鶏業」を適地とした中間答申が示され、引き続き諮議をお願いいたし、その結果につきましても同様の最終答申をいただきました。

村では、この2箇所を二者択一とした全世帯へのアンケートを実施し、島田小学校地44・2%、石田鶏業地49・3%、回収率76・3%の集計結果となりました。一方、桐島桐原地区21世紀型再ほ場整備計画の中で異種目換地用地とされた地域（役場周辺の農地）

につきましては、村が公共用地として取得するべく、平成8年11月から地権者の皆様との打合せ及び新潟県を始めとした関係機関との協議を鋭意重ねておりましたが、

当該土地の利用計画及び財政計画に難しい点があり、そして、当時は市町村合併も未だ話題とならない時期でございました。従いまして、現在では進行中であります町村合併特例事業として、高齢者福祉施設の和島地内建設が構想されておりありますが、このような事業が示されていなかった状況でもあり、用地取得につきましては進展することが出来ず、このままでは、当該地が異種目として換地され、農地でなくなることとなるため、この打開策として異種目換地用地を再ほ場整備化とするか、或いは21世紀型再ほ場整備事業地区からの除外とするかを協議申し上げ、皆様から地区除外という苦渋の決断をいただき、現在は一般農地として耕作を行っていたいておりますが、地権者の皆様方には大変な

ご迷惑をおかけいたしました。

これらと並行いたしましたして、村では平成10年の「小学校施設整備審議会」から答申を受けました2箇所について具体的検討を進めることにいたし、「石田鶏業地」につきましては、隣地に国指定史跡の「八幡林官衙遺跡」があり、この周辺開発は国指定史跡の関係から景観上問題点が残る、これを考慮いたしますと面積不足の懸念が生じてまいりました。もう1箇所の「島田小学校地」につきましては、裏山の切り土などの問題がありましたが、これを候補地として議会の学校特別委員会及び全員協議会などを通じて協議申し上げ、平成14年に村内12箇所において、島田小学校地」案について説明会を開催いたしました。

しかしながら、その際におきまして、多くの方々が村の中心部を望むご意見がありましたことから、位置選定につきましては再検討を行うべく新たな、教育施設整備検討委員会」設置などを含め議会の皆様のご意見をいただき、翌平成15年1月には新しく組織しました「教育施設整備検討委員会」に諮問を申し上げます。

内容は、第2次小学校施設整備審議会」において検討されました6箇所に、新たに「下富岡集落入口水田」を検討箇所に加え、現地踏査も行いながらご審議いただき、

同年3月末には「役場裏水田」と「駅前小島谷丘陵地」の2箇所を適地とした答申をいただいております。

位置選定についての基本方針

このような経過からも、統合小学校の位置の選定につきましては、長年に渡る重要懸案事項でありますが、市町村合併議論に代表されますように、行政・教育を取り巻く社会政治情勢は風雲急を告げ、もはやこれ以上位置の選定について時間を浪費することは許されない状況であると認識し、就任直後の昨年5月に、議会の皆様へ一日も早い事業着手に向けた関係作業を開始したい旨の説明をさせていただきました。その席では、まず、位置の選定について考慮しなければならぬ視点として、

長年に渡る重要案件であるため、将来に禍根を残さないように、住民の大多数が納得できる位置としなければならないこと。市町村合併議論に留意しながら、残された短い時間の中で早急に事業着手しなければ小学校統合事業の実現自体の可能性が薄れること。

市町村合併後の将来ビジョンを描いた中で、村の核となる施設、

とだろうと思っております。終わりになりますが、市町村合併を目前に控えた今、当村の中心地であります役場周辺用地に、この和島村の生き残りを賭けた教育と福祉の新たな展開を成し、また、住民の皆様が広く、しかも気軽に利用でき、文化の拠り所となり得る、「講堂」の整備計画も熟考しながら、一帯が将来に亘って和島村の皆様にあわれ住民の誇りとなる

施設整備に全力を注いで参りたいと考えておりますので、引き続き村民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

注：文中の「役場周辺の農地」「役場裏の水田」「役場裏水田」「役場周辺用地」はいずれもほぼ同じ写真の地点です。

「共育の里」構想(統合小学校及び高齢者福祉施設建設)予定地(小島谷川土手より島崎方面を望む)

統合小学校の位置の選定をご報告させていただきますことに対しまして、何とぞ、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。また、学校建設につきましても基本構想や建設年次計画、さらにはその財源状況などの詳細につきまして、議会の皆様への協議を始め、庁舎内においても調整中ではあります。機会あつて知己を得ました長岡造形大学の大学院の教授を中心に、十数名の教授陣による専門的なプロジェクトチームの結成をお願いし、平成16年度約1年間をかけ、住民の皆様のご意向や地元の職人さん方々からいろいろのご意見をお寄せいただきながら、設計監理はもとより、小学校2校の跡地利用や将来的には大学との交流も考えた対応を図って参りたいと思っております。現段階の進捗状況といたしましては、本年1月末を目途に新たな教育の理念を策定しているところですが、

今後の進め方等について

さて、今後の事務手続きとして、いわゆる農振除外関係事務や租税特別措置法の手続きなどのほか、クリアしなければならぬ作業は山積みしております。村民の皆様におかれましては、限られた時間の中で膨大な処理を進めていかなければならない現実をご斟酌いただき、直にご説明をさせていただきますべく、ここに

村の顔となる中心拠点地形形成を行わなければならないこと。既存施設との総合的、有機的連携を模索し、一体性を確保しながら相乗効果によりそれぞれの施設が有効に活用されなければならないこと。廃校後の跡地利用についても、その有効利用について並行して検討されなければならないこと。

以上の5点を精査し、さらにこれら5点を視野に入れた中で、統合小学校位置選定における私の基本方針を次のとおり述べさせていだきました。

今日までの検討経過を踏まえた中で、位置については役場周辺用地を最優先地として早急に実現可能性をさぐるための作業に着手したいこと。用地全体の有効利用については、「共に育む」「共育の里」をコンセプトに、「人を思いやる心」「生きる喜び」等をお互いに享受できるような、教育と福祉による夢来づくり拠点整備を目指すし、村の顔となり住民生活の核となる中心市街地エリア創造に努めたいこと。教育施設については、情操教育の充実に資する形体を検討していきたいこと。

なお、前述の昨年3月に教育施設整備検討委員会から答申いただいた



明るい家庭づくり運動作文

和島村少年育成村民会議
和島村教育委員会



わたしもがんばるよ

桐島小1年 早川 さえか

わたしのいえは、ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃん、おばあちゃん、おとうさん、おかあさん、ふたりのいもうととあたしの八人がぞくで、いつもとてもにぎやかです。でも、十月から十二月まで、おとうさんがかいしゃのしごとで、さいたまにいったのでちょっとさびしくなりました。休みがいつばいつづくと、おとうさんがかえってきます。おとうさんがいないときびしいから、かえってきたときは、とってもうれしいです。おとうさんは、かえってくるとき、わたしといもうとにいつもおみやげをかってきてくれます。このあいだかえってきたときは、ドラえもんのかついでとつめのえんぴつつたてをかってきてくれました。わたすとき、

とつてもうれしくて、大じにしようとおもいました。おかあさんは、びょういんのじむいんをしています。まい日おそくまではらたいいいるので、おばあちゃんがごはんをしたり、いもうとのせわをしたりしています。おかあさんのびょういんのしごとがすこしかわつて、まえよりまたかえりがおそくなりしました。おばあちゃんがたいへんなので、わたしも手つだつて、すこしはおばあちゃんをらくにしてやっています。今、おとうさんとおかあさんは、あたらしいおうちをたてて、わたしたちの子どもべやをつくるためにいつしよけんめいはたらいてくれています。そんなおとうさんとおかあさんのために、わたしもふたりのいもうとのきがえを手つだつたり、ようちえんのようにをしてあげたりしています。これからも、がんばってお手つだいをしようとおもいます。



あじさいはきもちいよ

島田小1年 すずい よしあき

「おはよう。」
と、ぼくがいうと
「おつ、おきたか。おはよう。」
と、おじいちゃんがつてくれます。ぼくのうちでは、まいあさおきるとみんなであいさつをします。いもうとのかなは、まだはなしができませんけど、「おはよう。」という、にこにこします。あさは、みんないそがしそうだけど、みんなあいさつをします。あいさつをすると、気持ちがよくて、一日がはじまるなあっておもいます。ぼくのうちは、七人がぞくで、いつもにぎやかです。いつもは、おとうさんもおかあさんもしごとでかえりがおそいので、おじいちゃんとおばあちゃんが、ぼくたちのめんどろをみてくれます。ぼくは、ようじをよくたのまれます。
「よしあき、ちよつとおいで。」
と、よばれると、

「はい。」
と、いって、ぼくはおばあちゃんのところいき、たのまれたことをします。おとうとの朋弘もよばれるとへんじをして、たのまれたことをします。たのまれたことをすると、いつも「ありがとな」っていわれます。いわれると、なんだかうれしくなつて、またつたつとおもいます。ほかにも「いつてきます」「いつてらっしゃい」などのあいさつをいつもします。たまに、おかあさんをおどろかさうとして、とがあくとき、きゆうにおおきなこえで
「おかえりなさい。」
という、おかあさんはびつくりして
「ただいま。あーびつくりした。」
といいます。だけど、そのかおはなんだかうれしそうです。あいさつはきもちがいいなあと、ぼくはおもいます。これからもつづけていきたいとおもいます。



ぼくの家族へ

桐島小2年 早川 たつや

ぼくは、家ぞくが大きいです。お父さんとお母さんは、いつも会社でいつしよけんめいはたらいています。お父さんは、夜おそくまでしごとをしているので、「大へんなしごとをしているんだなあ。」と思います。

お母さんは、夕方、家に帰るとせんたくものをしたり、夕ごはんのよういをしてたり大へんそうです。ぼくも、たまにはしをならべたり、「こはんをもつたりお手つだいをします。おじいちゃんとおばあちゃんは、田んぼやはたけでいつしよけんめいはたらいて



ぼくの家族へ

島田小2年 まつだいら こうき

います。おじいちゃんはいろいろな花をそだてています。とてもきれいです。おばあちゃんはりょうりをたくさんして、自分で考えたりようりもします。とてもおいしいです。この前、みんなでじゃがいもをほつたり、だいこんをほしたりしました。その時、とても楽しかったです。ぼくには、弟がいます。ぼくといつしよの二年生です。いつもいつしよにあそぶともい弟です。ぼくがいつもやっていることが三つあり

ます。一つ目は、朝、家ぞくでみんながかならずあいさつをしています。ぼくは、四才からはじめました。二つ目は、夕方おじいちゃんとおとうさんと毎日、二十分ずつおきようを読みます。三才からずつとつづけています。三つ目は、あそんだあとおもちやをきちんとかたづけることをしています。大きくなつたら、お父さんのようにいつしよけんめいはたらいて、子どもといつしよにあそんでくれるりっぱな大人になりたいです。



わが家の仕事

桐島小3年 栗林 彩

私の家は、らくのうをしています。お父さんはいつも牛にえさをあたえ、お母さんとおじいちゃんが牛のちしほりをしてしています。生まれたばかりの子牛の親牛のちしほりは、お父さんがしほります。わが家には、牛がやく八十頭近くいます。夏には八頭の子牛が生まれました。今年の夏休みに私は、お父さんに弟と一緒に子牛の世話をするように言われました。

ですが、時間がたつと、牛もおぼえ、しまいには手もなく一人でのまれるようになります。私は、「すこいなあ。」と思いました。子牛の家は、今年の夏休みに、お父さんが大工をして、手作りの家がたてられ、弟は木を持ってきたりしてお父さんの手伝いをしました。私は、お母さんとペンキぬりをしました。その中にある子牛を見て私は、とてもうれしくなりました。手作りの家に子牛がいてしきわらやがくすでおふんとにして牛は、「とても気持ちいいのかなあ。」と思いました。

私は、六頭たんとつして、弟は、二頭たんとつしました。バケツに四十度のお湯をヒーカー二はい。こなミルクを一ぱい。エサはカップ二はい。それをまぜて子牛にやります。それが私の仕事でした。生まれたばかりの子牛にバケツの中のおちを子牛の口に手をやり、「ここにあるよ。」と言つことを教えます。何度も何度も、牛は頭をあげたり、ついたりしてきま

私は、とくにカスミンと言う牛が大好きで弟は、茶色の入った牛で茶茶茶と言う牛がお気に入りです。どんな牛でも、目がとてもかわいいです。お父さんが、私にも家族にもいつも言葉があります。それは、「牛は、私たちの家族だ。」と言います。私はこれからも、仕事を手伝いたいと思います。

明るい家庭づくり運動作文

ぼくの家ぞくは、お父さん、お母さんとぼくの三人家ぞくです。ぼくは、さかえ町で生まれました。小学校に入学する時にわしま村にひっこしてきました。まだ、さかえ町にいたころは、ようち園から帰るとお母さんにつられて会社に行き、お父さんとお母さんのしごとを見ていました。ときどきしごとのお手つだいをすることもありました。お父さんのしごとは、トラックのぶひんをようせつしたり、ピカピカにみがいたりすることです。いつも、あせたらタラになつてすこくがなはっていました。ぼくは、手足もつかれるだろつし、たいへんそうだなあとおもっていました。家ぞくのためにがんばっているんだなあと思いましたが、早く家に帰りたいなあと思つ時もありました。

と、家におばあちゃんがいてくれるからです。おばあちゃんは、ぼくのせわをたくさんしてくれます。たまにけんかもするけれど、いつもぼくといつしよにいてくれるのでとてもかんしゃしています。おばあちゃんだけでなく、たまにおじいちゃんもぼくの家にいる日もあります。そんな時、ぼくは三人家ぞくから五人家ぞくになったような気がしてとてもうれしい気持ちになります。ぼくは、わしま村にひっこして来て、本当によかつたなあと思います。わしま村に来るまでは、ずっと三人家ぞくでさびしい時もあったけど、今では、家族が二人ふえたよつで、毎日がとても楽しいからです。これからもおばあちゃんとおじいちゃんといつしよに家ぞく五人、なかよく生活していきたいです。おばあちゃん、おじいちゃん、これからもよろしくおねがいします。



お父さんお母さんの仕事

島田小3年 寺村 真璃

私のお父さんは、けいたい電話の色をぬる会社で仕事をしています。最近、いそがしいので、朝早く出かけて夜おそくまで仕事をしています。お父さんに、「仕事は大変?」

と聞いたら、「うん。大変だよ。でも、帰ってきてビールを飲むのが楽しみで仕事をしているんだよ。」と言いました。私は、朝早くから私たちのために一生けんめいに働いているお父さん

をすごいなと思いました。お母さんは、牛にゆうの配たつをしています。学校や、いるいるな所に配たつをしています。私の通っている島田小学校にも毎日牛にゆうをはこんで来てくれます。だから、私は、給食に出る牛にゆうは、せつたいにのこしません。なぜかと言うと、お母さんが一生けんめいに配たつをしてくれるからです。お母さんに、「毎日重たい牛にゆうを運んでいて大変じゃない?」と聞いたら、「車を運転するのがすきだし、楽しいよ。」と言いました。今年六月に牛の品びょう会がありました。



ハムスターが家にやって来た!

桐島小4年 加勢 拓未

11月22日に、ぼくとおねえちゃんとお父さんの3人で、買い物に出かけました。買物の内ようは、お父さんの用事で、ぼくたちもいっしょに連れて行ってもらいました。お父さんの用事がすんだので、ゲーム屋さんに行きました。だけど、ほしい物がなくつまらないと思っていたところ、となりのお店においてあったハムスターに目がとまりました。ぼくとおねえちゃんとはとてかわいくて買ってもらいたくなりました。お父さんに話をしたら「また今度の時にしよう。」と言われてましたが、おねえちゃんとぼくは「めんどろをみるから買ってちょうだい!」と言いました。そう言うとお父さんは仕方なくハムスターを買ってくれました。

三年生のみんなで見学に行きました。その時にお母さんがアナウンスの仕事をしていました。私は、「お母さんカッコイイな。」と思いました。お母さんがはたらいているところをすごく近くで見られてよかったです。お母さんは、家に帰って来てからも私たちのごはんを作ったり、せんたくをしたりしてそがしいです。だから私は、そんなお母さんは、えらいと思います。いっぱい手伝いをしたいと思います。お父さんもお母さんも、仕事は、いやでもやらないといけません。だから私はいつも「お父さんお母さんありがとう。」という感じの気持ちでいたいと思います。

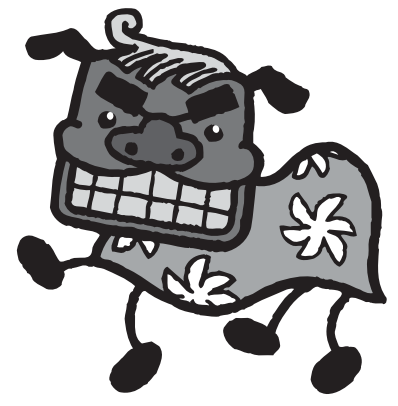


家族と親せきとじやがむいねがら

島田小4年 谷川 匠

秋に家族と親せきでいねかりをしました。その日は四つの田んぼのいねをかるので六人で行きました。最初に、田んぼの角をいねかりがまかりました。広い部分はコンバインでかるけど、角の部分は機械ではかることができないからです。いねのかりかたはおばあちゃんが教えてくれました。手でつかんでかるのはとても大変です。こしをまげてやるので、こしがいたくなりました。でも、せつせとがんばりました。おばあちゃんもぼくといっしょにせつせといねをかっていきました。すぐ休みたくなつたけど、おばあちゃんたちもがんばっているからがんばろうと思つて続けました。ぼくたちが角を半分くらいかかったところで、お父さんがコンバインで広いところをかり始めました。みんなで一生けんめいやつて、角の部

分は全部いねがなくなりました。「つかれたねえ。」みんなでそう言いながら休けいしてむぎ茶を飲みました。むぎ茶は最高においしかったです。お父さんは、「やつと一つ目は終わったね。」と言いました。次に、家の前の田んぼの角のいねをかりました。ぼくは一つ目のたんぼでつかれてしまつて、ちよびつとやつて見えました。でもみんなは一生けんめいやつていました。十分くらいもかかって休けいした時、ぼくは、「ぼくもいつかこんな大変な仕事をいっばいしないといけなんだなあ。お父さんたちですごいなあ。」と思ひました。それから三つ目の田んぼの角をかりました。おばあちゃんとお父さんは、あせをいっ



じまんの家族

桐島小5年 早川 美里

私の家族は、働きの者のおじいちゃん、優しいおばあちゃん、毎日おそくまで仕事をしているお父さんとお母さん、中学三年生のお姉ちゃん、そして私の全部で六人です。おじいちゃんは、毎年、家族みんなが食べるお米を作っています。おじいちゃんのお米は、とてもおいしいです。五年生は、総合学習でお米作りについて調べました。その時、おじいちゃんがいるいる教えてくれました。本も貸してくれたので、くわしく調べて、まとめることができました。また、おじいちゃんは、週に二回、私が剣道に行くとき送ってくれます。土曜日と日曜日は植木の手入れをしています。おばあちゃんは、畑でいろいろ野菜を

たからちよつとはずかしかったけど、ぼくも役にたつたんだと思つてうれしくなりました。つかれたけども楽しかったいねかりでした。来年もがんばるぞ。

作っています。私が学校へ行っている間に畑に行つて、おいしい野菜を作っています。学校の帰りがおそくなり、暗くなつた時は、おばあちゃんがとちよつまでむかえに来てくれます。そんな時は、とてもうれしいです。夕ごはんを作るのは、おばあちゃんの仕事です。お母さんの帰りがおそいので、おばあちゃんが家族みんなのごはんを作ります。ごはんはおいしいので、とても楽しみにしています。お父さんとお母さんの仕事は会社員です。お父さんは柏崎の会社、お母さんは長岡の会社につとめています。二人とも毎日おそくまでがんばつて仕事をしています。たまに土曜日も仕事をします。



家族はつながっている

島田小5年 山口 実希

家族って何だろう。ただいっしょに住んでいるだけなんだろうか。ただいっしょに過ごしているだけなんだろうか。六月、元気だった祖父が突然入院した。私たちはとてもびっくりし、夜、お見舞いに行つた。病室にはいつたら、骨折している人が五人もいて、お見舞いに来ていた人はとても悲しそうにしていた。その時、私は、私たちが悲しいけど一番つらいのは本人だ。」と思つていた。私は祖父としゃべりながら、「おじいちゃんが家にいないときびしいな。」と感じた。きつと、他の家族もそう思つていたにちがいない。だから、用事ない時は、私と母と双子の姉とで必ずお見舞いに行つた。数日たつて祖父は「畑が心配だなあ。」とつぶやいた。私は、「じゃがいもの時期な

ので、そろそろぼるんだなあ。」と思つた。思わす、「じゃあ、実希と結花と健でぼるよ。」と言つたら、祖父は、「そうか。じゃあたのむぞ。」とうれしそうに言つた。その時、私はちよつと役にたてうれしかった。その次の日からぼるこになった。みんなで協力しながらがんばつた。去年は一回も手伝わないで、全部祖父がやつていた仕事だ。私は、「おじいちゃんつてこんな大変な仕事を毎日やつていたのかあ。おじいちゃんはずいと思つた。病院に行き、いもほりのお話を話すと祖父は「本当か、ありがとう。つかれただろう。」と言つてくれた。私は、「意外と楽しかったよ。来年もやらせてね。」と言つた。そしたら祖父は、

「本当か？本当に手伝ってくれるのか？」とわざと聞いてきた。いつもの祖父らしさが出ていた。いいよ手術の日が決まった。そして、いよいよ手術の日が決まった。私は不安だったけど、足が治るなら手術はしかたないと思った。手術の日は、朝から「早く学校が終わらないかな。」と思って、放課後はすぐ病院に行った。手術が成功したと聞き私は安心した。祖父に「良かったね。手術はこわくなかった？」と声をかけると、祖父は、「全然、こわくなかったよ。」



スーパーおばあちゃん

桐島小6年 中村 壮希

ぼくの家族は、父母と祖母がいて、姉が三人います。ぼくをいれて七人家族です。一番上の姉は、今、東京の学校に行っている。今では六人です。

この家族の中で一番元気いっぱいなのは、何と言っても祖母です。祖母は今年七十四才になりますがバイクや自転車に乗って、どこにも出かけます。そして、ここにしながら、近所の人に話しかけます。ぼくは、いつも祖母の笑顔は「最高だなあ」と思います。祖母がいつも明るく、元氣な笑顔でいるので友達がいっぱいいるんだろ。うな思っています。近所の友達の家に行ったり、友達を家に呼んだりして、いつも楽しそうです。

祖母の得意なことは、畑のいろいろな野菜作りです。家では今、大根や白菜、長ねぎなど、たくさんのおいしい野菜ができて

と言っていた。

数日たって、退院の日が決まった時は、「おじいちゃんが戻ってくるんだあ。」とうれしかった。祖父もうれしそうだった。ついに、退院の日がきた。五人だった家族が六人になった。私は、「やっぱり六人全員そろった方がずっと楽しいな。」と感じた。祖父の入院・手術を経験して、私は、家族みんなでいることが一番だなあと思った。いっしょに住んでいてもいなくても、いっしょに過ごしていてもいなくても、家族は、おたがいに心配しあい、支え合っていると思う。

がっています。これは、祖母が毎日一人で、一生けんめいに畑仕事をして作った物です。「みんながおいしいと言ってくれる、作りがいがあるよ。」

と言います。ぼくたち家族は、祖母が作ってくれる野菜を一年中食べれて、とても幸せです。

ぼくの友達の一人は、祖母のことを「スーパーおばあちゃん」と呼びます。なぜかと聞くと、いろんなことが上手で、何でも積極的にやるおばあちゃんだからだそうです。「そう言われれば、そうだな。」とぼくも思いました。

農協の仕事の忙しい春や秋に手伝いに出かけたこともあるし、以前には遺跡の発掘仕事をしたこともあったそうです。

また、祖母は学校にもよく出かけて来て、ぼくたちや学校のためにいろいろしてくれ

ます。それでも、がんばって働くお父さんを見てみると私も応援してあげたいな、という気持ちになってきます。お父さん、お花屋さんのお仕事やフラワーアレンジメントなどの勉強は大変そうですね。でもお花は人の心を和やかにしてくれます。多くの人達の心を豊かにしてくれるお花屋さんのお仕事はとて素晴らしい職業だと思えます。これからもがんばって下さい。



感謝の気持ち

北辰中1年 関川 雄吏

ぼくの祖父はやさしいところがたくさんある。学校から帰ってきてつかれているほかに気をつかい、ぼくが、「腹へったあ。」

などと言うと祖父は菓子を用意してくれる。でもそんな祖父でも厳しいときもある。たとえばテレビゲームをしていたとき祖父が、「もう少ししたらやめろ。」

と返事をする。でもなかなかやめないので祖父は大きな声でおこる。それにたいしてぼくはつい口ごたえをしまつことがあ。でも祖父は、「もう少ししたらやめろ。」と言いつつ、「やめろ。」とは言わない。祖父はきつと信じているのだらう。でも、ぼくはその信用を裏切ってしまう。だからぼくが悪いということはわかっているのだらう、つい口ごたえをしまつ。祖父はぼくが学校に行っている間に、い

ています。

毎年、七夕の季節には、家の山から竹を切つて七夕飾りに使ってもらっています。きれいな花がいっぱい咲いた時には、学校に飾ってもらおうと、届けることもあります。そして、ぼくが四年生の時には、昔のせんたくのし方を教える先生として、来てくれたこともありました。

そして、最近では、小学校卒業が近いぼくたち十六人に、小学校での思い出にと、一人三個ずつ、手作りのお手玉をプレゼントしてくれました。みんなは、お手玉に夢中で、休み時間になると楽しんでいました。

ぼくは、こんな、いつも元気で、明るい、何にでも積極的で、人のことを考えている



お父さんの仕事

島田小6年 小林 優希

私のお父さんは、お花屋さん勤めていてます。お父さんの主な仕事は、お花の配達をしたり、営業をする事だそうです。お父さんはいつも朝の八時くらいに家を出て、夜の七時半くらいに帰ってきますが、遅いと八時から九時近くに帰ってくる事もあります。

私は、お父さんの勤めているお花屋さんに行つた事があります。お店にはバラやスイートピーなどのお花やサボテン、とてもきれいな鉢植えなど、様々なものがたくさんござつてありました。そこで私は、お父さんに仕事について、いろいろと話を聞いてみました。

お父さんが仕事で楽しい事は、お客さんとお話することだそうです。世間話をし

いるな行動する祖母を、すごい人だなあ、立派な人だなあと誇りに思います。八十才、九十才、百才と、これからますますとずっと長生きして、いつまでも「スーパーおばあちゃん」でいてほしいです。



は思っていたよりすごく大変な仕事だった。そしてすごく疲れる仕事であった。ぼくは「いつもおじいちゃんにはこんなつらい仕事をしているのかあ。たいへんだなあ。」と思った。自分がそれを体験したその日からぼくは祖父のことをだんだんと尊敬していった。そしてだんだんと感謝するようになった。ぼくは今でも祖父に口ごたえをしまつ。でも祖父への感謝の気持ちは忘れることはないだらう。そして祖父には長生きをしてもらいたい。

お父さんのボランティア

北辰中1年 高橋 姫香



私のお父さんは土日必ずついていい程ある仕事をする。そして、目に見える利益はないと思うその仕事をして帰って来ると、満足そうな顔をしている。その仕事はボランティアは今、お父さんの日課となっている。

お父さんのしているボランティアはどちらかというと体を使う仕事。村内にあるラベンダー園の草刈りなどをしてる。一言で草刈りといってもわりと広いラベンダー園では重労働だと思ふ。また、時にボランティア募集の知らせが来ると、進んで参加している。

そんなお父さんを見てるとふと不思議になることがある。なぜボランティアに参入で参加しているのか、という疑問だ。私は、はっきり言ってお父さんのしているようなボランティアは好きではない。すごく大変そうだし、やれと言われればやる

けど自分からやることはまずないと思う。それに、お父さんにしてみれば、お金の入らない仕事でもある。お金など利益のある仕事ならともかく、なぜ自分からそんな仕事をしたいと思うのだらう。その理由はこうだった。《ボランティアをする》ことにより、様々な人と交流できる。お父さんは、初め、誰かにさそわれボランティアを始めたい。もともと体を動かすことが好きなお父さんは、ボランティアにさそわれた時、快くそれに応じた。そして、そのボランティアで様々な仕事仲間と出会つた。ボランティアに行くたび、自分の様子をそれぞれ言つたりして、交流するのだ。また、そのボランティア以外に自分で参加しているボランティアでも、共に仕事をすることで初めて出会つた人とも親しくなることができるのだ。

お父さんはお金以上に大切なものを、ボランティアによって得ていたのだ。
お父さんはそんなボランティアを一度も苦しいと思ったことはないそうだ。仕事はやりがいがあるし、交流も楽しいから、が理由である。



夏の海

我が家では、毎年決まって夏休みに海へ行きます。最近の中学生は家の中でテレビゲームばかりしていると聞かれています。我が家では違います。

海では、色々なことをします。兄は僕と一緒に沖に行ったりします。沖の海水は澄んでいてきれいです。とても冷たいです。その中で僕は泳いだり、どこまで深くもくれるか競ったりします。でも、まだまだ二人共子供なので、そう深くまでもぐれません。そして、沖の海水は冷たいのですぐに岸が上がります。

弟は、海に長い間入っていて体が冷たくなるので、海から上がると決まって砂の中に埋めてもらいます。砂は太陽の熱で温かくなっているの、弟は砂風呂の気分だと思います。砂をたくさんかけるので、弟は身動きがとれなくなってしまうそうです。そこで、僕と兄で弟をくすぐったりして遊びます。僕は魚の観察をします。魚を追うのに熱中しすぎて、十分や二十分もくぐっていること

さんはそんなすばらしい仕事をしていたのか、と感じた。
他人から見ればたかがボランティア、と思えるかもしれない。でも、ボランティアはお父さんの仕事であり、日課であり、交流の場でもあるのだ。
これからもお父さんにボランティアをがんばってもらいたい。

北辰中2年 山口 幸士

もありました。僕だったらそんなに熱中できません。きつと何か魅力があるのでしょうか。
父はカキをとりまわります。カキをとりに行くと、多い時には一人で百個近くもつてきたことがあります。前、僕もカキとりに挑戦したことがあります。

「ほら、ここだよ。見えるだろ。」
と言う父の指導のもとでやりましたが、さっぱりどこにあるのか解かりませんでした。きつと、カキを探し当てるにはちよとしたコツと、長年の経験がいるのだと思います。とつてきたカキは、焼いて家族みんなで食べます。カキを焼くのは大変です。まず、丸太で火をたきます。大きな火がですが、僕は何回もやっているのでもう慣れました。次に、火が弱くなってきたらカキを焼きまわす。焼いていると、中からおおいしそうな汁がふき出してくるので、そうしたら火から下ろします。カキは殻をとらなければ食べられません。その殻をとる作業は、いつの間にか父や僕の仕事になってしまいました



母へ贈る思い



し、家族もすこくよこんでくれました。自分がとてもわかったことなのに、大変めいわくをかけてしまったり、指の手あてなど大変なことをさせてしまったりしたけど、家族は一生懸命に看病してくれました。今でも大変感謝しています。ほとくの家族はとてもいい家族です。

それから、どんどん料理関係の仕事をやってみたくなり、調理師を目指した。
けれど、母は私に栄養士のことも教えてくれた。聞いていると、調理師よりも大変そうだった。でも、母が自分の夢であるかのよう、に、たくさん私を教えてくれるため、栄養士になった自分を考えるようになり、いつしか私の夢は栄養士に変わっていった。私が栄養士になれば、自分ももちろん、母や家族のみんなに役に立てる。だから、将来どんなに先は長くても栄養士になりたい。

北辰中3年 田村 好識

私と母のつながり。それは料理だと思っ。私は、母のお弁当が大好きだ。好きなものしか入っていない。おかず一つ一つに工夫がなされていて、いつも開けるのが楽しみだった。とくにはいつかといううれしいのは、ふわふわの玉子焼きと、ウィンナーのお花だった。私は、母だけ作れるのがうらやましくて、小学校4年生頃からよく玉子焼き作りの練習をしていた。今では、私の作る玉子焼きも、母に負けていないだろう。

この頃から、料理の上手な母を超えようとしていたのだと思っ。
もつと料理を知りたい、そう思っしたのは新しいオーブンレンジを買ったとき、「チーズケーキ作るのうか。」と、母が言ったからである。
そして、私は母とケーキを作った。初めてのケーキづくりはきんちょうじに思っ。焼けるのをまつ時間がとても長いように思っ。味がどうだったのかなんておぼえていない。ただ嬉しかった。母からまた料理の楽しさを教えてもらった。そして、もつと知りた、と思っ。

た。カキの殻は固く閉じていて、開けるのはすこく大変です。ですが、コツさえ覚えれば僕でも開けられるようになりました。そんな僕でも、たまに開けられないカキがありますが、父に渡すとアツという間に開けてしまうので驚きです。そんな時に、やっぱり父はすこいなあと思っます。



家族

今年、ぼくは、休み時間の時に、友達とふざけあっていてガラスで手を切っしていました。すぐに、保健室に行きました。手を切っして少しと、血がたくさんできました。消毒をして、止血をしました。でもしばらくは、血が止まらなくて、ぼくは、すこおどおどしました。

そしてぼくは、すぐに病院に行きました。病院に行くとならず、ガラスが入っているかどうか調べ皮膚をめくりました。調べてみるとガラスはなく、一安心しました。そのあとまた消毒をして薬をぬり、包帯を巻きました。この時祖母が家から来ていて、心配そうに見ていました。この時ぼくは雨の中してくれた祖母にすまないなあと思っました。そのあと、一度学校にもどり、授業を受けました。この時、ぼくは、きつと帰ったら、父さんや、母さん、祖母、祖父に、おこられるだろうなと思っました。そう思っながら授業を受けました。
放課後すぐに家に帰りました。この時も、すこおこられるだろうなあと思っながら帰りました。でも家に帰ると、祖母と祖父

北辰中2年 本間 雄樹

がいたけど、おこるどころか、「だいじょうぶか？」と優しく言ってきてくれました。ぼくは、必ずおこられると思っっていたので、正直とてもうれしかったです。母さんや父さんたちもとても心配してくれました。

それから三日ぐらい祖母と一緒に病院に行きました。消毒をして、薬をぬりました。このときはすこ寒い中での通院だったので、大変だっただろうな思っました。通院が終わっって、家で薬をぬることになりました。最初は自分でやっっていたけど、無ちやするなど、家族からやってもらっこともたくさんありました。一日一回だっただけど、忙しい中、消毒薬をぬる紙をはる、包帯を巻くなどめんどくさいことを何日か続けていきました。だんだん痛みもなくなっきて、水にもさわれるようになりました。今では、傷あとはこっっているけど、痛みももつ、ほとんどありません。もう指もだいたい動かせるようになりました。家族も、「だいたいは治っってきたね。」と言ってくれました。自分でもとてもうれしかった

母という大きな存在



北辰中3年 小林 佳奈美

私は最近カゼをひいて寝こんでしまった。「苦しい。苦しい。」三十九度を過ぎている私の体がとても熱くて苦しいのだ。そんな時私は、無意識のうちに母に助けを求めた。
「明日は仕事を休むから、病院につれていよ。」
そう言っ母は会社を休み、私を病院につれていってくれた。家に帰っから母は、「何かほしい物はある？」

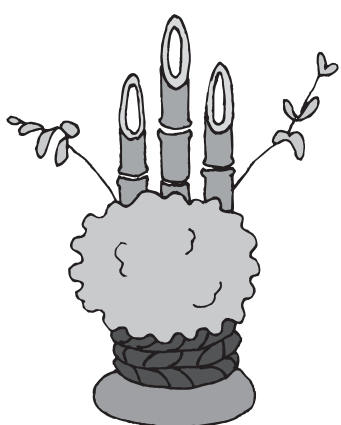
など聞いて、熱で動けない私を看病してくれ。私が寝ている間も、どうやら三十分ことくらいの様子を見に来てくれていたようだ。
そういえば思っ出す。私は小さい頃から体が弱くて、いつもカゼをひいていた。そんな時母は今と同じように会社を休んで私を看病してくれただった。

私は中学生になっってから、母と話しをするこもなくなっし、感謝していても簡単に「ありがと」
という言葉が言えなくなっしまった。そんなことを、まるでカゼが思っ出させてくれたようだった。

そして今年の夏、母は病気でずっと入院をしていた。最初にそのことを聞いた時は、正直驚いて、思っ涙があふれていた。だっってあのいつも元気な母が、病気だなんて信じるこができなかつたからだ。

僕が開けたカキを、祖母や弟に食べてもらった時の「おいしい」という笑顔はすこく大好きです。そんな風にみんなに喜んでもらえるのはうれしいので、そのためなら色々な事を頑張ります。
これからも、家族みんなの笑顔が絶えないよう、温かく明るい家庭を作りたいです。

母が入院している間、今は病院にいるということを知っていたけれど、すこに「だいたい」と言ってもどっけるのではないかと思っ。
初めて母がいない夏のお盆を迎えた。母が毎年やっっていたことがこんなに大変だということを知らなかつたし、「母」という存在がとても大きいのだということ、改めて知らされた。
私は人生の中で起こる全ての物事には、全て意味があると思っ。だからきつと母のことに対して、母の大切さを知らせるために起きたことかもしれないと今なら思っるのだ。
母は私の一番の理解者だと私は思っている。私のことをわかってくれるし、これまでも、ケンカをしたことはないのだ。だからこれからは、もつと自分に素直になっ母と接したいし、母にも体には充分気をつけてほしいと思っます。





小林 博さん



藤田 正義さん



神子 義彦さん



池田 弥さん

村政への多大な貢献をたたえて

和島村村政功勞表彰

12月17日(水)、12月定例議会本会議の席上で、村政の振興に貢献された方に対し、和島村村政功勞表彰が行われました。

この表彰は、村政の発展や産業文化の向上、その他住民福祉の増進等に寄与された方々を表彰するもので、今年度は功勞表彰を7名の方が受けられ、笠原村長から表彰状と記念品が贈られました。このたび表彰を受けられた皆様におかれましては、今後ますますのご活躍を期待いたします。

功勞表彰者紹介

・功勞表彰

- 和島村議会議員として12年間、村政に尽くされました。
- 藤田 正義さん
- 小林 博さん
- 池田 弥さん
- 神子 義彦さん
- 和島村職員として30年間、行政に尽くされました。
- 深澤 孝子さん
- 山口 正則さん
- 近藤 尚子さん

内容たくさん 思い出たたくさん

11月29日(土)島田小学校で1日フリー参観が行われました。これは日々の子供たちの様子をゆつくりと参観していただきたいと今年はじめで行なわれたものです。その中で、もちつき大会と、移杖式が行なわれました。

午前10時40分からは、もちつき大会が開催されました。体育館には白が用意され、父兄や先生方がもちをつきました。途中からは児童も参加し、杵を一生懸命動かして、もちをついていました。

授業が終わった午後2時50分から始まった移杖式では、現在のスクールバンドメンバーの最後の演奏として、「Let's goいいことあるさ」が演奏されました。指揮杖の移杖が行われると新指揮者は緊張した面持ちで受けとり決意を新たに行なっている様子でした。



練習の成果 舞台上で発表

保育所・幼稚園での日頃の活動成果を発表する生活発表会が12月6日(土)、開催されました。この日は、我が子の晴れ姿を一目見ようと、カメラやビデオを片手に大勢の父母や祖父母が会場となった保育所・幼稚園を訪れ、上手に発表する子供たちに盛んな拍手を贈っていました。

子供たちはこの日のために一生懸命に練習したおゆづぎやダンス歌、劇などを、心配そうに見守る家族の気持ちよそに、元気いっぱい、楽しそうに発表していました。



おもちをたべて 風の子 元気

11月20日(木)保育所において、もちつき大会が行なわれました。この日は、いきいきサロンの方も訪れ、子供たちと一緒に、もちつきを見学しました。

遊戯室には大きな臼と杵が用意され、参加した子供たちのおいしいちゃんももちをつき、子供たちは「がんばれ、がんばれ」と声援を送っていました。出来上がったおもちはさっそくおばあちゃんの手で料理され、子供達は美味しくそにおもちを食べていました。



つきたての味を堪能 桐島小学校五日制対応事業

11月29日(土)桐島小学校において「もちつき大会」が行なわれました。これは学校週五日制になったのにもない、PTAが毎年事業をしているもので、昨年は地域散策など様々な催しをしています。

この日は、大勢の父母が参加。杵を打つ音が体育館全体に響きわたっていました。また児童も、もちつきを体験し慣れない手つきながらも一生懸命もちをついていました。出来上がったもちを早速くばられ、子供たちはつきたての味を堪能していました。



人権を考える

北辰中学校1年生、高橋亜友美さんが全国中学生人権作文コンテストで新潟県大会優良賞を受賞しました。また1年生の小林千晶さんが柏崎人権擁護委員協議会長賞を受賞し、12月15日(月)同校長室で新潟地方事務局柏崎支局職員から表彰状と記念品が2人に贈られました。

人権は主張するだけでなく尊重することもとても大切です。こうして人権というものを考えてみることで、人のことを思いやる気持ちが育っていくのかもしれないね。



右から小林千晶さん、高橋亜友美さん

身近なことから人権をかんがえてみませんか

12月4日(日)10日は人権週間です。この人権週間に合わせて、12月8日(月)、北辰中学校で人権PRが行われました。

この日は村長、教育長、人権擁護委員の遠藤さん、また生徒会の3役が生徒玄関に立ち、登校してくる生徒1人ひとりにパンフレットを配布して人権の大切さについてPRしていました。

もし、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、困りごとや心配ごとがありましたら、法務局や人権擁護委員にご相談ください。





わし麻呂くんの部屋

生涯学習情報



「すいびん大人になりました。」

少年教室

去る11月30日、柏崎アクアパークを会場にスケート教室が行なわれました。

当日は、寒波によって訪れた、あいにくの雨と肌を切り裂くような寒さでしたが、スケートリンクに飛び出した子どもたちは、氷をも解かず勢いで、仲間同士楽しそうに駆け回り、時には、華麗な滑りを披露する新潟市の中学生グループに熱い声援を送っていました。また、当日は電車で移動や市街の歩行など、公共の場でのマナーを実践する良い学習機会でした。担当者として、世間に胸を張って、「この子どもたちは和島村の子どもたちです」と言いたいくらいルールやマナーを考えて行動していました。

閉講式

去る12月13日(土)、ゆきわり荘を会場に少年教室の閉講式と最後の学習が行なわれました。

少年教室では、子どもたちの自主性や協調性を育むため、全12回にわたり、集団宿泊研修など様々な学習を行なってきました。最終回となったこの日は、今年度の学習について、それぞれに評

又ながクラブ通信

新年の神棚かざりは自作で決まり!

去る11月22日(土)、ゆきわり荘を会場に切り絵「神棚かざりづくり」の学習が行なわれました。

切り絵の学習は、一昨年からはまり、昨年の夏休みに実施しました。回を重ねる度に参加者が増加し、今回は一般も含め37名が参加しての大手帯での学習会となり、指導にあたってくれた「和島切り絵村」のみなさんも大忙し。まさに師走の様相をかもし出していました。

正月の神棚かざり「八丁紙」を制作した参加者たちはお正月を待

凧も自作で決まり!

12月6日(土)には、凧作りを行いました。

当日は77名が参加。この凧は翌日7日のパイパス開通イベントで揚げる予定でしたが、残念ながら雨で中止となってしまいました。しかし今年の和島村のお正月は手作りのたこあげる子どもたちの姿がそこかしこにみられるかもしれませぬ。



りっぱに成長しました



一緒に楽しみました



指導にも熱が入ります

ちきれないかのように、友だち同士で作品の出来栄を楽しそうに評価していました。また当日は、子どもたちが手に持つ機会が少なくなったカッターナイフを用いての学習であったため、指導者からは安全な持ち方や使用方法についても詳しく学びました。

サンタがわしまにやってきました

12月16日(火)、ひよこくらぶ主催の公開イベント「クリスマス会」が役員保健センターを会場に開催されました。毎年恒例となった、ひよこくらぶのクリスマス会。子供たち一人ひとりにサンタさんからプレゼントが手渡されるなど、こやかな雰囲気の中で冬の一大行事をみんなで楽しみました。

ひよこクラブは、3歳までの乳幼児とその保護者を対象に、育児に関する情報交換をする場として、学習会や活動を行っています。相談できず一人で悩んでいる人はぜひ参加してみてください。



お問合せ先 住民課 教育委員会に

第8回村民ボーリング大会参加者募集!!

体育協会では今年も村民ボーリング大会を次のとおり開催します。
期 日：2月1日(日)
参加資格：中学生以上の村民及び村内事業所に勤務する方
会 場：見附三ツ三ホール
募集定員80名(定員になり次第締め切ります。)
参加料：2,000円(ゲーム代、貸し靴、飲料、賞品含む)
お申し込みは、1月23日(金)までに教育委員会へ

ニュースポーツ大会 結果報告

12月号でお伝えした11月9日(日)に行なわれた、第2回三町村親善ニュースポーツ大会の結果ですが、報告に未掲載がありました。
関係者のみなさまに深くお詫びするとともに、ここにあらためて成績を掲載いたします。
【フロッカー部門】
優勝 ペヤングチーム(駅前)

干支紹介

今年も申年

平成16年は申年。

日本に生息しているのは、「ニホンザル」。顔とおしりの赤い、おなじみのサルです。人間と同じ霊長類に属し、北は、青森県下北半島から、南は鹿児島県屋久島まで生息しています。群れをつくり、果実や種子、昆虫を好んで食べるようです。

ところで、近年、野生のニホンザルを見かける機会が多くなりました。観光用に餌付けされたサルが人前に現れたり、里に出て、人間にえさをねだったり、農作物を荒らしたり……。人間をこわがらず、時には、人に襲いかかったりすることもあるようです。被害にあっている地域では、いわゆる猿害対策が大きな課題になっています。

日本人にとってなじみの深いサルですが、お互いが敵対しあうのは残念なことです。猿害の防止を図りつつ、サルが将来にわたって自然の状態で生息していくことができるよう、共生の道を探っていききたいものです。



サルは様々な昔話にも登場しますし、サルにまつわることわざや慣用語もたくさんあります。『さるかに合戦』ではサルは悪役でしたが、『桃太郎』、『西遊記』では、主人を支える名脇役として活躍していました。

ことわざで、だれもが知っているのは「猿も木から落ちる」。これは、その道にすぐれている人でも、時には失敗することがあるということのとえ。「木から落ちた猿」は、頼みにするものを失ってどうしてよいか分からない状態

のことをいいます。木の上を得意とするサルならではのことわざです。

同じくサルの特徴をよくとらえたことわざといえば、「サルの尻笑い」。自分の尻の赤いことに気がつかないで、他のサルの尻が赤いことを笑う意味で、自分の欠点に気がつかず、他人の欠点を笑うことのとえです。そのほか、「サルまね」「サル知恵」「サル芝居」など言葉がありますが、どれもあまり言い意味では使われていません。そもそも「サル」「去る」というイメージがよくないのでしようか。「去る」は「去る」でも悪運だけは去っていつてほしいものです。



荒巻神楽保存会



寺泊太鼓倶楽部



幼稚園児と関係者によるテープカット

12月7日 開通記念 イベント



弓踊り



開通記念マラソン



島崎伶人会による菓子まき



両高こども神輿会とソーラン隊



寺泊よさこい真凛



寺泊よさこいWAVE



島崎(大武)から寺泊側を望む

和島バイパス事業

和島バイパスは和島村大字両高から寺泊町大字碓田間延長6.26キロのバイパス事業です。昭和59年度に事業化され、平成元年より工事に着手しました。この区間には国指定史跡の「八幡林遺跡」など、13もの遺跡が見つかり、発掘調査を平行して実施しました。

和島村内の国道116号は集落内を通過していることに加え、道路の幅員が狭いうえ、急カーブ区間が多く、住民にとって交通環境の悪化が深刻な問題となっていました。この供用開始により、集落内の通過交通が大幅に減少し、歩行者等の安全の向上が図られます。

待ちにまった一般国道116号

和島バイパス開通



笠原村長のあいさつ



約80名で行ったくす玉わり



国会議員も出席しました。



車輛パレード

12月12日(金)ついに一般国道116号和島バイパスが完成し、和島農村勤労福祉センター小体育館で、完成記念式典が行われました。式典には国会議員や、町村長、住民代表、工事関係者ら約150人が出席、現場関係者が行ったテープカットは、衛星中継で式場に送られるなど、盛大な式典となりました。最後に、幼稚園児の掛け声を合図くす玉割りが行われ、「祝和島バイパス開通」の文字が現れると会場は大きな拍手に包まれました。
その後、風雨の中、同村側からバスなど四十台あまりの車両が今回完成した約4・8キロの暫定二車線区間を走行しました。
午後からは、祝賀会も行なわれ、関係者約300人が祝いました。



番屋汁のふるまい



スタンプラリー

この開通に先立ち、12月7日(日)には開通記念イベントが開催されました。この日はあいにくの雨となりましたが、記念マラソンには約230名もの人が参加しました。また中学校では番屋汁が振舞われたり、スタンプラリーが行なわれるなどイベント盛り沢山の内容となりました。
午後からはメイン会場となった北辰中学校では寺泊太鼓、荒巻神楽、島崎伶人会、よさこいソーラン、両高こども神輿会、六夜祭弓踊りが披露されました。

開通記念イベント



安全祈願祭



祝賀会

1月の納税・納入

- 村 県 民 税
- 国民健康保険料
- 介護保険料
- 保育所保育料
- 幼稚園保育料

1月

| | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | ① | 2 | 3 |
| ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ⑪ | ⑫ | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| ⑱ | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| ⑳ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

お知らせ

役場 ☎74 - 3111 FAX74 - 2791

INFORMATION

長岡広域圏イベント情報

『岩戸舞』 栃尾市

期 日 / 1月2日(金)
会 場 / 葎谷
内 容 / 獅子舞が新年の福を授け集落をめぐる。元禄年間から続く伝統行事です。
問合せ / 栃尾市商工観光課 (☎ 52 - 2151)

『飴獅子』 出雲崎町

期 日 / 1月11日(日)
会 場 / 海岸地区全域
内 容 / 金ピカの獅子頭に派手な色のシッポを持つ「飴獅子」が全町内を舞います。
問合せ / 出雲崎町企画振興課 (☎ 78 - 2291)

『ベストオブクラシック公開録音』 長岡市

期 日 / 1月23日(金)
会 場 / 長岡リリックホール
内 容 / NHK - FMの「ベストオブクラシック」の公開録音。音響に優れたリリックホールでの演奏をお楽しみください。
問合せ / 長岡市芸術文化振興財団 (☎ 29 - 7715)

1月の救急診療のご案内

内科、小児科、外科、歯科の昼間

| | 診療科目 | 診療時間 |
|---------------------------|-----------|------------|
| 長岡市休日急患診療所 (☎35 - 8255) | 内科・小児科・外科 | 9:00~18:00 |
| 長岡市休日急患歯科診療所 (☎33 - 9644) | 歯科 | 9:00~16:00 |

休日救急当番医表

| 区 分 | 午前10時~午後5時 | 午前9時~翌午前9時 |
|--------|-----------------------|----------------|
| 診療科目 | 産婦人科 | 内科・小児科・外科・産婦人科 |
| 1日(祝) | 丸岡医院 | 長岡赤十字病院 |
| 2日(金) | トマトレディスクリニック | 長岡中央総合病院 |
| 3日(土) | セントポーリア ウイメンズクリニック | 立川総合病院 |
| 4日(日) | 杉本医院 | 長岡赤十字病院 |
| 11日(日) | 明石医院 | 長岡中央総合病院 |
| 12日(祝) | 小林医院 | 立川総合病院 |
| 18日(日) | 丸岡医院 | 長岡赤十字病院 |
| 25日(日) | トマトレディスクリニック | 長岡中央総合病院 |

お問い合わせ及び連絡先

| | |
|---------------------|------------------------------|
| 長岡赤十字病院 ☎28 - 3600 | 杉本医院 ☎32 - 1546 |
| 長岡中央総合病院 ☎35 - 3700 | セントポーリアウイメンズクリニック ☎21 - 0800 |
| 立川総合病院 ☎33 - 3111 | トマトレディスクリニック ☎39 - 7111 |
| 明石医院 ☎32 - 3262 | 丸岡医院 ☎39 - 2422 |
| 小林医院 ☎27 - 7755 | |

都合により当番の変更がありますので、事前にご確認ください。

1月の子育て支援センター活動表

| 開設日 | 活動内容 | 開催場所 | 開催時間 |
|--------|-----------------------|------|---------------|
| 7日(水) | 新年おめでとう!! 正月遊びをしよう | 保育所 | 午前9時30分 から |
| 14日(水) | 正月遊びをしよう | 保育所 | |
| 21日(水) | 親子で遊ぼう | 保育所 | 午前11時30分 |
| 28日(水) | 楽器を作ろう 発育測定 | 保育所 | |

1月の出前予定先

| | |
|--------|--------------|
| 8日(木) | 下町上集会場(島崎) |
| 9日(金) | 両高集落センター |
| 15日(木) | 下小島谷ふれあいセンター |
| 16日(金) | 北野集落センター |
| 22日(木) | 日野浦集落センター |
| 23日(金) | 下富岡集落開発センター |

お問合せ...住民課福祉係 (☎ 74 - 3111)

歯の健康 Q&Aコーナー

Q 歯ブラシにはいろいろな種類が市販されていますが、歯ブラシ選びのポイントを教えてください。

A 現在、実に数多くの歯ブラシが市販されています。歯ブラシの毛の硬さは、ブラッシングの方法にもよりますが、歯の表面の汚れを落とすには、毛先の固いほうが軟らかいものより効果的です。硬い毛の歯ブラシは使い方を誤ると歯ぐきを痛めやすいので、一般的には、軟らかめ(ソフト)か

普通(ミディアム)が良いでしょう。また、形態に関しては、ブラシの部分は小さめで、毛先があまり長くとなく、柄がまっすぐなものを勧めます。歯ブラシは消耗品です。毛先の開いてきた歯ブラシの効率は極端に悪くなりますので、1カ月に一度取り替えることをお勧めします。但し、1カ月以内に毛先が開くような場合は、力が入りすぎかもしれません。力が入りすぎると、歯ぐきを痛めてしまいます。ある程度の力でも歯垢は落とせますので、力を入れすぎには注意しましょう。

(新潟県歯科医師会)

全国的に、子どもを狙う不審者が相次いでいることから、和島村青少年育成村民会議ではこのほど、両小学校及び中学校、全ての児童・生徒に携帯用防犯ブザーを配布いたしました。12月10日には北辰中学校で伝達式も行なわれ、代表として、大倉江梨奈さんが受け取りました。ブザーは首から掛けるタイプで、ひもを引っ張ると音が鳴る仕組み。同会長の久住等さんは「使われないことが一番です。暗くなつてから帰る時は、なるべく街灯がある所など充分注意して帰ってください」と話していました。



エコパークが変わります! 副産塩を凍結防止剤に再利用



平成15年新潟県女性海外派遣事業「和島村から参加」

新潟県では、財団法人新潟県女性財団に委託し、国際的視野を広げ、豊かな社会づくりに向けて地域の女性リーダーを養成するため、女性海外派遣事業を行なっています。今年和島村より松田久美子さんが応募の結果オランダ・ドイツに派遣されました。10月22日から11月1日までの日程で行なわれた今回の女性海外派遣は、海外で男女平等への取組を中心に行なわれました。参加した松田さんは「外国でも完全な男女平等というわけではありません。しかし様々な取組みに感じました。私自身の力は大きくありませんが、少しでも男女平等の社会になるようにがんばりたいと思います。」と話していました。

介護老人保健施設 ぶんすい看護師 (正・准)募集

社会福祉法人長岡福祉協会介護老人保健施設ぶんすいでは正職員として正看護師及び准看護師を募集いたします。

資格

看護師(正看護師もしくは准看護師)免許、普通自動車免許

業務内容

施設利用者のための看護業務等(夜勤有り)

採用試験/随時

年齢/20歳~45歳位まで

お問合せ

介護老人保健施設ぶんすい 総務 近藤 (☎0256 91 3333)

銃砲刀剣類登録審査会の会場変更について

会場

変更前 長岡総合庁舎
変更後 長岡建設会館1階ホール
住所 長岡建設会館
(長岡総合庁舎なめめ向い)
長岡市四郎丸長字沖田230 1 (☎32 0616)

平成16年2月20日(金)
午前10時~午後2時30分

その他
長岡総合庁舎の駐車場をご利用ください。
お問合せ
新潟県教育庁文化行政課 (☎025 285 5511)

危険物取扱者保安講習の実施について

危険物取扱者免状の所有者で、現に危険物取扱作業に従事している方は、保安講習を受講しなければならぬ法律上の義務があります。免状の交付を受けた日又は講習を受けた日から3年以内に講習を受けてください。

| 講習日 | 講習会場 | 講習種別 | 受付期間 |
|---------|------|------------------|--------|
| 2/4(水) | 三条市 | 一般(その他) 給油取扱所 | 1/5~14 |
| 2/17(火) | 長岡市 | 一般(その他) | 1/9~28 |
| 2/18(水) | 新潟市 | 一般(その他) 給油取扱所 | |
| 2/19(木) | | コンビナート | |

受講申請書
受講申請書は各消防本部・消防署、新潟県危険物安全協会、県庁消防防災課に用意してあります。
お問合せ
財団法人新潟県危険物安全協会 (☎025 285 3490)

家族で楽しむふれあい教室 第3回「冬に温かくふれあおう」

期日 平成16年1月24日(土) 25日(日)

会場

県立青少年研修センター
参加対象/親子、家族
研修内容
さいの神、餅つき、昔の遊び
手作りカレンダー
定員/60人
経費/3,000円

携行品

防寒具、帽子、軍手、長靴、雨具、運動靴(内履き)、着替え、筆記用具、洗面用具、入浴用具(石鹸、シャンプー等)等

申込締切 平成16年1月9日(金)
申込方法 所定の申込用紙を郵送、電話・FAXで、直接研修センターに申し込んでください。なお、定員に達し次第締め切らせていただきます。参加不能な場合のみご連絡いたします。

お申込先

〒953 0012
西蒲原郡巻町大字越前浜559
7 1 県立青少年研修センター
(☎0256 77 2111)

警察からお知らせ 1月10日は110番の日

110番通報制度は昭和23年に発足して以来、皆さんと警察を結び「きずな」として広く定着しています。

警察では、毎年1月10日を「110番の日」として、この日を中心に110番を正しく利用していただくための広報を行っています。

通報をしたときは、次のことに注意し、「いつ、どこで、なにが」をはっきりと伝えてください。また屋号だけではどの地区のどのお宅なのか正確にわかりません。住所・氏名・電話番号をはっきりと伝えてください。

110番通報要領

県内の110番通報は、全て新潟県警察本部の通信司令室につながります。電話を受けた警察官が次の順で尋ねますので、落ち着いてお話しください。

- 何がありましたか? 交通事故、泥棒、ケンカなど
- いつですか? 何時何分ごろ、今から何分前
- どこですか? 場所、目標物、建物など
- 犯人は? 人相、服装、車のナンバー、逃げた方向など
- あなたには? 住所、氏名、電話番号など(屋号ではわからない場合がありますので、住所・

氏名・電話番号をつけてください
こんな時はためらわず110番通報を
事件や事故を見た時
泥棒などの被害にあった時
たおれている人を見た時
訪問販売等がきて困っている時
携帯電話でかける際の注意事項
自動車などを運転しながらの電話は禁止されています。

県境付近から110番すると、他県の通信司令室に入ることがあります。
場合によっては電波が届かず、通話が困難な時もあります。こんなときは場所を変えるか近くの公衆電話を利用してください。
早くて正確な通報が、犯罪の未然防止や事故防止、早期解決につながります。あわてず、落ち着いてみたまを正確にお話しください。

お詫びと訂正

広報わしま12月号3ページ写真のキャプションのなかで「はやて」の漢字について誤りがありません。ここに深くお詫びし訂正いたします。

正 嶋(はやて)
誤 疾

地域開発課からお知らせ

冬期間の除雪作業にご協力ください

冬期間の除雪作業を安全に効果的に行えるよう、また、その効果が十分に生かされるよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

路上駐車は除雪作業の妨げになるとともに、夜間や吹雪の中での作業事故につながる恐れもありますのでしないでください。

除雪車は前進、後退を繰り返し作業を行うことがあり、大変危険ですので、絶対に近寄らないでください。また、子供たちが除雪車の近くで遊ばないよう特に注意をお願いします。

玄関や車庫前に残った雪は皆さんで処理をお願いします。

- 携帯電話基本料金 50%割引、iモード、留守番電話サービスなどの各種サービスの月額使用料を50%割引
- 新規契約などの事務手数料無料
- KDDI
- 「スマイルハート割引」
基本使用料50%割引
通話料a u電話・一般電話50%割引
- 他社携帯電話・PHSへの電話20%割引
- Cメール送信料50%割引
- ポータフォン
- 「プライオリティサポート」

雪の重みで樹木や竹などが道路の上に垂れ下がる場合があります。交通の支障になるものについては、その処理にご協力ください。
「もしもの時」のために消火栓のまわりには、雪をおかないでください。

玄関先や庭先の雪を道路上に放置する方を見受けられます。歩行者や車の通行の妨げになりますので、道路上への雪の投げ捨てはしないでください。

除雪作業は早朝や夜間の作業が多いため騒音等で迷惑をおかけすることが多いと思いますが、皆様のご理解をお願いします。

- 基本使用料50%割引
- ポータフォン、一般電話通話50%割引
- メール送受信料 50%割引
- ツーカーグループ
- 「エール17」「エール35」
ツーカーでは携帯電話をよりお手軽な料金でご利用いただける料金プランと提案しています。
- お問合せ
各携帯電話会社販売店にお問合せください。

消雪パイプは、日中2時間の運転休止時間が設けられています。休止時間中は多少シャベルの雪が残ることがありますが、ご理解くださるようお願いいたします。
積雪期間中は雪で道路が狭くなり、歩行者も車も通行条件が非常に悪くなっています。お互いに相手を思いやり、道路を通行する際は十分注意するようにしましょう。

除雪に関するお問合わせ先

- ・村道に関するご問合わせ先
和島村役場地域開発課 (☎74 3111)
- ・県道に関するご問合わせ先
与板土木事務所維持管理課 (☎72 3185)

歯の健康に関する 作文発表会

歯と口の健康

北辰中学校2年 佐越 千紗

私は、歯みがきをするとき心がけている事があります。それは、一つ一つ丁寧にみがく事と、みがき残しがないようにすることです。小学校の頃、私は歯科医院に通っていました。歯並びが悪く歯をぬいたりしていましたが、その分、歯みがきの正しいやり方を教えてもらいました。そのとき私は歯医者さんからいろいろのことをおそわりました。食事が終わったら、十分以内に歯みがきをすることなども教えてもらいました。

北辰中学校では、給食後水道の近くでみんなが歯みがきをしています。でもその中で口の中に歯ブラシを入れっぱなしの人がいます。それはあまり意味がないと思います。歯みがきは、ちゃんと手を動かして歯を一つ一つみがいていくのが歯みがきなのに、口の中に入れてはなしては汚れがついたままになるからです。それを直すには一人一人がきれいな歯になるように心がけることが大事だと思います。そして、今までお昼に歯みがきをしていなかった人もするように心がけて、歯を大事にした方がいいと思います。また私は保健委員になって自分だけでなくクラスの歯みがきの様子も気になって来ました。

いままでの歯と口のことを振り返ってみると、自分がやってきたことが間違っていたものもありました。でも私は学校で、時々教えてもらったフロスの使い方や自分の歯にあったブラッシングの心がけ、いつも元気になれるようにしたいです。